

第6学年 国語科学習指導案

日時 平成17年10月14日(金)6校時
児童 男5名 女10名 計15名
指導者 岩 淵 淳 也

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材名 「平和のとりでを築く」 大牟田 稔

2 単元について

(1) 児童観

物語文や説明文を読み、登場人物の心情をとらえたり内容をとらえたりすることを苦手としている子どもが多い。今年度の4月に実施したNRTの学力検査では、国語の「読むこと」は全国正答率61.3%に対して、学年正答率は60.1%で、全国比は98であった。説明文の読みにおいては、「叙述に即して読む」と「要点の読み取り」の設問で不正解の児童が多いという実態であった。そこで、前単元の「生き物はつながりの中に」という教材文では、キーワードを手がかりとして大事な文を見つけることに重点を置いて指導してきた。その結果、大事な文を見つけ、キーワードを入れて要約する力が少しずつではあるが育ってきた。また、要旨をまとめる学習では、要旨と自分の考えを2つのまとまりに分けて書くことを重点に置いて指導した。その結果、少しではあるが感想だけではなく自分の考えも書くことができるようになってきた。

本単元においては、6年間の説明文の学習の総まとめとして、説明文の学習の仕方を振り返り、筆者の考えや文章表現について吟味し、筆者が何を伝えたいのかを一人一人がとらえ、自分の「意見」や「主張」を発信する学習へと発展させていきたい。

(2) 教材観

第5学年及び第6学年の「読むこと」の指導目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる」である。また、本教材の中心となる指導事項は「読みの視点に沿って要点をとらえること」「文章構成や叙述から筆者の伝えたいことをとらえること」と「筆者の考えをふまえ、平和について、自分の考えを明確にして読むこと」である。

第5学年での説明文の学習においては、文章構成をとらえ、要点をまとめたり要約していくことで、筆者の考えをとらえる学習を中心に行ってきた。第6学年では、内容や筆者の考えを読み取るだけでなく、それらに対する自分の意見を持ち、発信していく活動まで広げていきたいと考える。

この教材は、世界遺産の「原爆ドーム」について、その足跡をたどりながら、保存することの意義、平和のとりでを築く人類の営みの尊さなどを訴えている。この文章は「話題提示～原爆ドームの歴史～世界遺産となるまでの歴史～まとめ」ととらえることができる。特に話題提示とまとめの段落に筆者の思いが強く表れている。それだけでなく、原爆ドームが世界遺産になるまでの歩みや人々の行動を述べた文章の構成で、戦争の悲惨さや平和を守っていくことの大切さや歴史的な見方や地球規模的な見方の大切さも読み手に伝えようとしている。今年度は戦後60年という節目の年にも当たるので、こうした見方や考え方に接し、平和について考えることはとても大切なことである。

以上のことから、本教材においては「原爆ドーム」が世界遺産になるまでの歴史的な順序や人々の願いをとらえるとともに、筆者が伝えたいことを正確にとらえ、自分の考えをもつことができるようにしていきたい。

(3) 指導観

現代の日本においては、欲しい物がすぐ手に入り、電化製品の普及で快適な生活を送ることができる。戦争やテロは遠い国のこととして、平和の大切さやありがたみを感じることも

なく生活している。それだけに、平和の中において「平和」について考えると「平和でよかった」と安易にとらえてしまうおそれがある。

そこで、単元に入る前に戦争についての資料や図書を自由に閲覧できるようにし、社会的なできごとに関心を持てるようにしておく。

「つかむ」段階では、反復Aにおいて、今までの説明文における学習の仕方（文章構成、中心文の読みとりなど）が身に付いているかを確認し、これからの学習における支援の一助としたい。単元全体の学習の流れや平和についての意見文を書くことを確認し、ゴールを意識した学習活動ができるようにしていきたい。

「ふかめる」段階では、文章構成や語句に着目しながら、段落ごとに読んでいく。それらはすべて筆者の思いにつながっていることが理解できるようにしたい。段落ごとにとらえたことに対して、常に自分の考えを持つようにして、筆者の主張を受けて自分の考えを明確にまとめる活動へとつなげていきたい。

「広げる」段階では、「自分の考えを発信しよう」という教材のもと、「平和のとりでを築く」の学習でまとめた自分の読みについて、テーマを絞っていく。資料や図書を調べたり取材活動したりすることを通して、テーマに迫っていき、その中で自分の考えを明確に持たせるようにしていく。それを、他へ発信したり意見文を書いたりする活動へとつなげていく。

反復Bにおいては、教材文の読みを確認するために、文章構成や叙述から筆者の主張を読み取る問題とそれに対する自分の考えを書く問題、今までの説明文の学習のまとめとなる問題を設ける。

「個人カルテ」は、一人一人の説明文の学習の学び方を評価し、学習の仕方がしっかり身に付いていない児童への支援方法を考えるために活用していきたい。また、一人一人の戦争や平和についての考えや思いを把握し、それらを明確に発信できるように支援するための資料としても活用していきたい。

3 単元目標

- (1) 筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心を持って読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。 (国語への関心・意欲・態度)
- (2) 自分の考えを明確に表現するための資料を選んだり、効果的な文章の組み立てを考えたりして文章を書くことができる。 (書くこと)
- (3) 文章の叙述に即して、筆者の伝えたいことをとらえることができる。 (読むこと)
- (4) 文章の構成や語句の使い方から筆者の考えをまとめ、それを受けた自分の考えをもつことができる。 (読むこと)
- (5) 文章全体のおおまかな構成と、部分の役割を理解することができる。 (言語事項)

4 単元の指導と評価規準(17時間扱い)

過程	時	学習活動(指導内容)	評価規準 評価方法		
			関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
つかむ	1	*反復A(読工) 「文章の構成を考え、要点をまとめる問題」に取り組む。	・今までに学習したことを想起して問題に取り組もうとしている。 発言・プリント	・文章構成や中心文について理解し、筆者の意見をとらえている。 プリント	・新出漢字を正しく読んだり、書いたりしている。 ミニテスト
	2	・単元名、リード文、題名から学習への構えを持つ。 ・教科書の単元構成と学習のゴールを知り、学習の見通しを持つ。	・題名から感じたことを書いたり発表したりしようとしている。 発言・ノート	・単元構成を理解し、これからの活動の見通しを持っている。 観察	・国語辞典を使って語句の意味を調べている。 観察

ふ か め る	3	・題名と第1段落から読みの課題を共通認識し、全文を読む。	・読みの課題を考えようとしている。 発言・ノート	・筆者の思いをとらえ、読みの課題を理解している。 発言・ノート	・題名に使われている言葉の意味について理解している。 ノート・発言
	4	・第2～8段落を読み、原爆ドームが保存されるようになったわけをとらえる。	・原爆ドームの保存について自分の考えを書いたり発表したりしようとしている。 発言・ノート	・原爆ドームが保存されるようになったわけをとらえている。 発言・ノート	・指示語が指している内容について理解している。 発言・ノート
	5 本時	・第9～12段落を読み原爆ドームが世界遺産となったわけをとらえる。	・筆者の考えを読み取りようとしている。 発言・ノート	・原爆ドームが世界遺産となったわけをとらえている。 ノート・発言	・事実と考えを区別して理解している。 ノート
	6	・第13段落から、筆者の考えをとらえる。	・筆者の考えをとらえようとしている。 観察・ノート	・筆者の考えを理解している。 ノート・発言	・文末表現の違いを理解している。 ノート・発言
	7	・筆者の伝えたいことを読み確かめるための視点について話し合う。 ・視点に沿って書き込みをして、まとめる。	・視点について進んで考えようとしている。 観察・ノート	・筆者が伝えたいことをとらえている。 ノート	・視点に沿った書き込みをしている。 ノート・発言
	8	・読み深めたことを交流し、筆者の伝えたいことに対しての考えをまとめる。	・自分の考えをまとめようとしている。 観察・ノート	・自分の読みをもとにして、筆者の考えに対する考えをまとめている。 ノート	・考えと理由を明らかにして文章を書いている。 ノート
		「自分の考えを発信しよう」	関心・意欲・態度	書くこと	言語事項
	9	・パネルディスカッションの方法を知り、テーマを決める。	・自分のテーマを持つようとしている。 ノート	・自分のテーマを具体的に書いている。 ノート	・テーマについて調べたことを具体的に書いている。 ノート
広 げ る	10	・テーマについて、様々な方法を使って調べる。	・進んで調べようとしている。 観 察	・調べたことを必要に応じてメモしている。 ノート・発言	・言葉の意味を辞典で調べたり、わかりやすい言葉に置き換えたりしている。 ノート
	11	・調べたことから、テーマについて自分の意見を考える。	・自分の意見を持つようとしている。 観察・ノート	・考えと理由が明確な文章を書いている。 ノート	・段落構成を考えながら文章を書いている。 プリント

広 げ る	1 2	・考えの似ている友だちと交流し、さらに考えをまとめる。	・進んで意見を交流しようとしている。 観 察	・友だちの考えから深めたことをまとめている。 ノート	・自分の意見に新たな内容を付け加えたり、別な表現を使って書いたりしている。 ノート
	1 3	・立場をはっきりさせてパネルディスカッションを行う。	・友だちの発表に質問や感想を持つようとしている。 観 察	・友だちの考えと比べて考えたことを書いている。 ノート	・聞いたことから感想を持っている。 ノート・発言
	1 4	・意見文に書くことがらを整理し、文章の構成を考える。	・進んで文章構成を考えようとしている。 観 察・ノート	・意見が伝わるように文章構成を考えている。 ノート	・メモを活用して書く事柄を整理している。 ノート
	1 5	・意見文を書きまとめる。	・進んで意見文を書こうとしている。 観 察	・自分の意見を明確にした意見文を書いている。 ノート	・接続語や指示語を効果的に使って文章を書いている。 ノート
	1 6	・説明文の学び方、パネルディスカッションの仕方、意見文の書き方について振り返る。	・学習したことの成果を振り返ろうとしている。 発言・ノート	・自分の学習を振り返って、感想を書いている。 観 察・ノート	・意見文の書き方を理解している。 発言・ノート
	1 7	* 反復 B (読イ) 「文章の構成をとらえて、筆者の考えをとらえる問題」に取り組む。	・進んで課題に取り組もうとしている。 観 察	・筆者の考えとそれに対する自分の考えを書いている。 プリント	・説明文の読み方を理解している。 プリント

5 本時の指導 (5 / 17)

(1) 授業の構想

「一人学び」では、既習の学習を生かして、世界遺産となるまでの経緯を年号と人々の動きや世界遺産となった理由についてもまとめるようにする。原爆ドームが世界遺産となったことについての自分の意見を考えるようにする。

(2) 目 標 (本時のねらい)

原爆ドームが世界遺産となったことを、筆者はどのように考えているかとらえることができる。

(3) 展 開

一人学び

キーワード

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点 (評価) 評価方法
見 通 す 4 分	1 前時の学習を振り返る。	・ 掲示を利用して前時の学習方法や内容を振り返ることができるようにする。 学習課題がわかったか。 観 察
	2 本時の学習課題をつかむ。 原爆ドームが世界遺産となったのは、なぜだろう。	

	<p>3 第9段落を読み、原爆ドームが世界遺産となるまでの大まかな流れをつかむ。 (1) 一斉読みをする。</p> <p>(2) 一人学びでまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 原爆ドームが世界遺産となるまでのようすをまとめよう。 </div> <p>(3) 全体で確かめる。</p> <p>ふ 4 第10～11段落を読み、世界遺産の定義と原爆ドームが世界遺産となるまでの筆者の考えをとらえる。 (1) リレー読みをする。</p> <p>か (2) 世界遺産の定義をとらえる。</p> <p>(3) 筆者の考えをとらえる。</p> <p>め 5 第12段落を読み、原爆ドームが世界遺産となったわけをまとめる。 (1) 個人読み、指名読みをする。</p> <p>(2) 一人学びでまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 筆者は、原爆ドームが世界遺産となったことを、どのように考えているかまとめましょう。 </div> <p>(3) 全体でたしかめ、キーワードを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「原爆ドーム」「核兵器」「記念碑」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくはっきりとした声で読むことを読みのめあてとする。 ・まとめかたについては、全体で確認する。 <p>原爆ドームが世界遺産となるまでの経緯を大まかにとらえることができたか。 ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学びを確かなものにし、全体の学びで理解を深めるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産となっているものの規模や歴史にふれ、原爆ドームと比較できるようにする。 ・平和への願いが市民の願いから世界の人々の願いにまで広がったことをつかめるようにする。 <p>原爆ドームが世界遺産となるまでの筆者の考えをとらえることができたか。 発言・ノート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>筆者の考えをまとめることができたか。 ノート・発言</p> <p>A 筆者の考えを的確にとらえてまとめている。 例「原爆ドームは、核兵器は不必要だと世界に警告する記念碑だからである。」</p> <p>B 筆者の考えをキーワードを入れてまとめている。 例「原爆ドームは、未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない、むしろ不必要だと、世界の人々に警告する記念碑だからである。」</p> <p>Cへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えが強く表れている文に着目できるようにする。 ・原爆ドームが別の言葉で表現されていることに着目できるようにする。 ・「原爆ドーム」を主語として、「～だからである。」という文を作るようにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ終わった子どもには、原爆ドームが世界遺産になったことに対する自分の考えを書くように促す。
36分	<p>振り返る 6 自己評価カードに記入し、感想を発表する。</p>	<p>進んで学習に取り組むことができたか。 筆者の考えがわかったか。 友だちのよさや学習についての感想が書けたか。 自己評価カード</p>
5分	<p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は第13段落から筆者の考えを読み取る学習であることを知らせる。

6 板書計画

平和のとりこぎを築く

大牟田 稔

なぜ、原爆ドームが世界遺産となったのだろうか。

一九九二年
(平成四年)

日本がユネスコの世界遺産条約に加盟

広島で原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まる。

全国に広がる。

文化遺産や自然遺産を保護する制度。

不安

- ・ 戦争の被害を強調
- ・ 規模が小さい
- ・ 歴史が浅い

世界の人々の平和を求める気持ち

一九九六年
(平成八年)

世界遺産に指定される

原爆ドームは、核兵器は不必要だと世界に警告する記念碑だからである。

キーワード

原爆ドーム 核兵器 記念碑

7 自己評価カード

《学習をふり返って》

() 月 () 日 (名前)

一 一生懸命考えたり、積極的に発言したりすることができましたか。

A B C D

二 筆者の考えがわかりましたか。

A B C D

三 今日の学習の感想

8 教材分析

「 平 和 の と り で を 築 く 」	
言語事項	<p>キーワード 原爆ドーム 年月 保存 原爆 建物 世界遺産 平和 核兵器 記念碑 とりで 世界の遺産</p> <p>指示語 この その あの それ</p> <p>接続語 そして また それは しかし</p> <p>文末表現 ~る。 ~た。(事実を表す) ~という。(伝聞を表す) ~なのだ。(主張、考えを表す)</p>
要 点	<p>「原爆ドーム」が世界遺産となるまでの年月を思わずにはいられなかった。 「原爆ドーム」は、1915年に完成した。 この建物は多くの市民に親しまれていた。 1945年、原子爆弾がこの建物の近くの上空で爆発した。 この建物は全焼はしたものの、丸屋根の部分の鉄骨がドームの形となった。 戦後、原爆ドームを保存するか、取りこわしてしまうか、議論が続いた。 1960年、市民の意見が原爆ドーム保存へと固まった。 原爆ドームには補強工事がくり返され、今の形を保っている。 1992年から1996年まで、原爆ドームを世界遺産にしようという活動が続いた。 世界遺産とは、文化遺産と、自然遺産を保護していく制度である。 原爆ドームが世界遺産と決定したとき、世界の人々の平和を求める気持ちの強さを感じた。 原爆ドームは、核兵器が不必要だと警告する記念碑である。 原爆ドームは、人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。</p>
文章構成	<p>話題提示</p> <p>「原爆ドーム」の歴史 ~</p> <p>「原爆ドーム」保存までの歩み ~</p> <p>「原爆ドーム」が世界遺産となるまでの歩み ~</p> <p>まとめ</p> <p>筆者の考え</p>
筆者の思い	<p>原爆ドームが世界遺産となったとき、この建物がたどってきた年月を思わずにはいられなかった。原子爆弾が投下されたとき、この建物は、全焼はしたもののれんがと鉄骨は残った。市民中心の保存運動が高まり、補強工事が繰り返されてきた。さらに、世界の人々の平和を求める強い気持ちが原爆ドームを世界遺産にした。原爆ドームは、人々の心に核兵器や戦争を許さず、平和を守っていく強い意志を築くための世界の遺産なのだ。</p>
発 展	<p>戦争や平和についての自分の考えや意見を書きまとめる。さらに、それを他へ伝える活動をする。</p>

